

観光・デジタル共創KYUSHU宣言（案）

～九州のポテンシャルとデジタルの力を活用した持続可能な広域連携・官民共創の実現～

我々は、「九州はひとつ」の理念の下、地域が持つポテンシャルを活かし、第2期九州創生アクションプラン（JEWEL S+）の推進をはじめとして、総力を挙げ九州創生を進めてきた。

そのような中、国はデジタル田園都市国家構想総合戦略を策定し、デジタルの力で、地方の個性を活かしながら社会課題の解決と魅力の向上を図るという方向性を示している。

九州はこの流れをしっかりと受け止め、これまで積み重ねてきた地方創生の取組を推進しつつ、デジタルの力を最大限活用することにより、直面する社会課題の解決を成長エンジンへと転換し、持続可能な地域社会を創造していくことが重要である。

また、九州の基幹産業となることを目指す観光産業では、社会情勢の変化に伴う観光の機運の高まり、持続可能な観光への関心の高まりや、旅行ニーズの多様化など環境が大きく変化している。

歴史や文化、自然、スポーツといったポテンシャルにあふれる九州にとっては、九州経済及び地域の持続的な発展を牽引すべく、持続可能な観光の実現に向け、九州一体となった取組を展開していく好機である。

我々は今後、国の施策と九州創生への取組成果を十二分に活用しつつ、持続可能な地域社会の先進的モデルを構築するため、官民共創の広域連携事業をこれまで以上に推進し、日本の未来像をこの地から実現していく決意をもって、以下の取組を重点的に進めることを宣言する。

1 デジタルの力による社会課題の解決に向けた取組の加速化・深化

- ・ 防災・交通・医療などへの活用に向けた産学官広域データ連携の推進
- ・ デジタル技術の実装支援による中小企業のデジタル化・DXの加速化
- ・ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる多様な機会にあふれた環境の創出
- ・ 九州MaaSブランドデザイン実現への取組推進
- ・ 大学や高専等の高等教育機関や地域産業と一体となったデジタル人材の育成・確保

2 地域経済や地域の持続的な発展を牽引する観光の実現

- ・ 世界中から選ばれる「KYUSHU」を目指したブランディングの強化
- ・ 九州ならではの観光資源の創出・魅力向上や受入環境の整備による誘客・リピーターの拡大
- ・ デジタル技術の活用による観光産業の高度化
- ・ 九州に関わるすべての人がひとつとなった持続可能な観光（観光SDGs）の実現

令和5年5月31日

九州地域戦略会議

共同議長
共同議長

蒲島 郁夫
倉富 純男

